

いっしょに Parents, Teachers and Students 育てていきたいから。

保護者、教員、そして生徒が紡ぐ一高の絆



●8月23・30日(日)に、中学3年生を対象に、オープンスクール・探究科説明会が本校で開催されました。生徒会本部役員や探究科の生徒を中心に説明会や座談会が実施され、好評を得ました。PTAの方にも受付業務などにご協力いただきました。



逆境の中の前進

PTA広報委員長 早川 洋

コロナ禍により日本中の子供達の得られるはずの貴重な経験が奪われていく中、強行遠足の実施に尽力いただいた関係者の皆様には感謝申し上げます。私は広報担当としてスタートからゴールまでのビデオ撮影を務めさせていただきました。

子供達は友達と話をしながら楽しむ者、自分との戦いに没頭する者、お互いに競い励まし合う者等、向き合い方は様々でしたが、総じて礼儀正しく、諦めず、ひたすら前に進もうという意思が感じられました。関係者、子供達とも逆境の中で前に進もうとした努力。かけがえのない財産になったと思います。

創立140周年記念行事

●10月22日(木)に創立140周年記念式典・講演会が本校視聴覚室で行われました。生徒は、今回の記念事業協賛金により各教室に設置されたPCプロジェクターを利用したりリモート形式での参加となりました。また協賛事業で購入されたワゴン車が、協賛会長の金丸氏より寄贈されました。



同窓会長、宮島様 講演会講師の雨宮様 ワゴン車の寄贈

芸術から学ぶ生き方

2年 青木 希美

本校の卒業生で、山梨県の伝統工芸品である雨端硯作家の雨宮弥太郎先生が、創立140周年記念講演をしてくださいました。「芸術とは何か」ということを考えたとき、先生は「芸術」とはただ形として存在するものではなく、それを創り出した過程や創った人の思いに本質がある」とおっしゃいました。

箏曲部に所属している私は、曲作りに大切なのは演奏する私たちの心なのだと気付かされました。先生の講演を聞いて、色々な視点で物事を見ながら生活する大切さを学ぶことができました。

2学年研修旅行

●12月9日～11日、伊勢志摩・京都方面への研修旅行を実施しました。ナガシマスパーランドでは思いの外のアトラクションを堪能し、伊勢神宮をはじめとする寺社では歴史に触れることができました。コロナウイルス感染症対策のため、検温や手洗いの徹底など窮屈なこともありましたが、生徒たちは旅行に送り出してくださいました保護者の皆様への感謝を胸に、2泊3日の旅を楽しみました。研修旅行実施にご理解と多大なご協力を賜り、ありがとうございました。



ナガシマスパーランド 平等院にて 伏見稲荷にて 室生寺にて

令和2年度 主なPTA活動

- 学校PTA拡大役員会 5/8
- PTA専門委員会(強行遠足・広報) 7/21、2/4、2/16
- オープンスクール受付 8/23・30
- 進路研修会 9/10(1年)、12/18(2年)
- 強行遠足協力者合同会議 9/24
- 強行遠足撮影、検印所協力 10/3
- 3学年PTA委員会 2/19

PTA広報委員(編集担当)
山下 義治
樋口 泰代
中澤 千津子



<http://www.first.kai.ed.jp/>

一高ホームページは、保護者向けのサイトも充実!!
保護者向けに発行している便りは、学校ホームページでも閲覧できます。
学校行事や生徒会活動、トピックスなどの情報が盛りだくさん!!
ぜひご覧ください。一高の「今」を実感していただけます。

携帯電話からは、右のQRコードよりアクセス!!



甲府第一高等学校PTAだより We are KOFU FIRST HIGH SCHOOL. 2021 March

発行◎山梨県立甲府第一高等学校PTA
〒400-0007 山梨県甲府市美咲2丁目13-44 tel.055-253-3525 fax.055-253-3527
発行日◎令和3年3月1日
編集◎山梨県立甲府第一高等学校PTA広報委員・総務広報係

甲府第一高等学校 PTAだより

We are KOFU FIRST HIGH SCHOOL.

2021 March
KOFU FIRST High School
PTA Profile Paper vol.22
山梨県立甲府第一高等学校PTA



Always go forward!
向かい風を追い風に変えて



コロナ禍のPTA



PTA会長
若月 栄治

『どうしよう、どうする?』この1年、何度このセリフが出たかわかりません。

学校と協力して、子供たちが「一高に来て良かった」と思えるようなPTA活動を行いたいとスタートしたものの、新型コロナウイルスの影響により例年通りの活動ができず、多くの活動が中止・縮小という決断を余儀なくされてしまいました。

PTAとしての役割が果たせない、役に立てていない苛立ちと焦りの中、唯一実現できたのが一高の伝統行事である強行遠足でした。県をまたがず、男子はまきば公園までの43.8km、女子は高根総合支所までの31.0kmでの開催とな

コロナ禍での大行事



校長
小林俊一郎

令和2年度は、幕開けから新型コロナ感染拡大防止対策に翻弄され、全校生徒が登校して通常の学校生活を始められたのが6月半ばでした。県高校総体やインターハイ(全国総体)を始め、各種コンクールや大会が中止となる中、本校における大きな行事もその開催が危ぶまれる状況下にありましたが、それぞれできる限りの配慮をして実施してまいりました。

まず昨年度台風19号の影響から中止を余儀なくされた強行遠足ですが、従来のコースを県内に変更して、10月3日(土)に実施しました。多くの保護者の皆様や同窓会の方々のご協力をいただいて、無事に行事を終えることができました。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

また、10月22日(木)には、本校創立140周年の記念式典・記念講演を、YCC県民文化ホールから本校の視聴覚室に会場を変更して実施しました。実施にあたり、140周年記念事業協賛会から御寄贈いただいたコンピュータ、プロジェクターを使用し、生徒達は各教室で式典及び記念講演をライブで視聴しました。協賛会からは、このICT機器の他にも、ワゴン車(新

We are KOFU FIRST HIGH SCHOOL

車)の購入、更には既存の学校自動車(マイクロバス、10人乗りワゴン車)の整備及び備品購入をしていただきましたことを、ご報告申し上げます。

本校2学年生徒の研修旅行に関しましても、徹底した感染防止対策を講じた上で、12月9日(水)~11日(金)の2泊3日で実施しました。見学場所も、当初の目的地(普通科は沖縄、探究科はフィリピンセブ島)から、最終的に伊勢志摩(三重県)や京都府・奈良県・滋賀県をクラス別にバスで巡るというコースに落ち着きました。実施後の生徒アンケートからは、思い出作りができたことの喜びの言葉が溢れ、実施に向けてご尽力いただいた関係の皆様に対し、感謝の念に堪えません。

さて、2020年から2021年には変わりましたが、今なお新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、予断を許さない状況は変わりありません。学校現場では今後も様々な行事が控えています。広い視野を持って各々の行事への対応に際しては、適切に判断をしていく所存です。保護者の皆様におかれましても、今後とも変わらぬご理解、ご協力をお願いいたします。

変化する環境に対応する

PTA強行遠足委員長 加藤 寿之

体育の日がスポーツの日と改称され、東京オリンピックが華やかに開催されるはずだった2020年、新型コロナウイルスの流行により私たちの生活は一変しました。学習方法も部活動も生活の全てが変わり、昨年中止となった強行遠足も今年は距離を短縮して開催されました。

私たちを取り巻く社会は否応なしに変化し、人々にも変化を迫ります。個々の力の及ばない事象に直面しても、目的と志を見失わず時代に流されず変化に対応する力が必要とされます。形態や手段が変化しても、志を忘れない事が大切だと再認識し、明日に繋いでほしいと願います。

逆境の中でも

PTA強行遠足副委員長 2学年代表 興水 吾郎

一昨年の台風19号の影響による中止、今度こそはと願ってやまなかった強行遠足は新型コロナという新たな壁に阻まれ、またもや開催が危ぶまれる事態になってしまいました。生徒の皆さんも不安な気持ちを抱いていたことでしょう。しかしその様な状況下でも先生方、関わられた全ての方々のご尽力により、規模を縮小してではありましたが実施に繋がった事はとても大きな意義があったと思います。3年生は最後の、1・2年生にとっては初めての挑戦、力を振り絞り進んでいく姿を目の当たりにした時は本当に実施出来て良かったと実感しました。一刻も早く現在の状況が収束に向かい今年こそは小諸を小海を目指しての開催を強く願っております。

令和2年度「第93回強行遠足」を終えて

体育振興係主任 内藤 秀俊

令和2年度「第93回強行遠足」は、10月3日、コロナ禍により山梨県内コースとして実施されました。コロナ禍の実施については、新型コロナウイルス感染防止対策について職員はもとより保護者、同窓会の皆様が慎重に審議を重ね判断をしました。昨年度は台風19号により中止となり、今年度も中止となると「強行遠足を繋ぐ」という責任を果たすことが困難になるという危機感もありました。

幸いにも令和2年度「第93回強行遠足」は、天候にも恵まれ無事に終了することができました。改めて生徒をはじめ職員、保護者、同窓会の皆様の強行遠足に関わる姿を見たときに「実施ができてよかった」ことに思いを強くしました。そして、令和3年度「第94回強行遠足」の実施についても、従来通りの安全、安心の確保ができるという思いを生徒、職員、保護者、同窓会の皆様が抱くことができたものと確信しています。

9月24日(木) 強行遠足協力者会議



1年越しの挑戦

3年 石井 睦己

私は強行遠足を経験したいと思い一高に入学した。一年目は完走することだけを目指していたが、二年目は一位でのゴールを目指していた。しかし台風の影響で中止となってしまった。その悔しさもあり、今年こそこの目標を達成しようと意気込み、友人たちと山に走りに行くなどして、落ちた体力を戻す取り組みも行った。目標まではあと一歩届かなかったが、挑戦したことに意味があったと思う。

走っている間、諦めかけることが何度かあったが、周囲の人の支えによって前に進むことができた。支えてくださった先生、先輩方、保護者の方々には感謝しかない。



希望を運ぶ 伝統を運ぶ

池波正太郎著「日曜日の万年筆」より

PTA副会長 3学年委員長 加賀美準一

人間は生きものだ。生きものであるかぎり、自由の幻想はゆるされない。自由とは、不自由があってこそ成立するものなのだ。野生の動物たちの生態を見れば、おのずから、それを知ることができよう。彼らは、研ぎ澄まされた本能と感覚によって、自分たちの世界と子孫の存続をはかるため、きびしい掟をまもりぬいている。その上で、草原を走る自由が得られることを、よくわきまえているのだ。

多くの人々の温かい想いと、手厚い協力を得て過ごした一高ならではの一年を糧にしてください。と、お子様にお伝えください。

感謝

PTA副会長 2学年委員長 山本 栄喜

一本の電話が鳴った。一高時代の親友M君から15年前にニューヨークで会って以来の連絡だった。話の内容は同窓会幹事のお誘いだった。この電話がなるまでは全くやる気がなかったが一気にスイッチが入った。同窓会の準備が始まりたくさんの同級生と30年ぶりに再会した。みんな私の事を覚えていてくれた。

強行遠足の検印所のお手伝いもした。30年前の自分の姿と重なった。同級生と夜通し昔話に盛り上がった。

同窓会当日、残念ながら私はシカゴにいた。けど楽しかった。嫌なこともあったけど楽しかった。かけがえのない友達と時間をくれた一高に感謝。

思考力

PTA副会長 1学年委員長 小沢 忠雄

一高行事の1つである強行遠足が、学校・同窓会・保護者、関係者の皆様の御努力、御協力により開催されました。生徒の一步一步前へ挑戦したいという思いが伝わり伝統行事の重さを実感しました。中でも、黄色い袋を持った数組の生徒が目にとまり、尋ねると「ゴミ袋です。ゴミ拾いをしています。」と元氣な返事が返って来ました。また1つ、一高生の頼もしさを感じました。

まだまだコロナ禍で先が見えず大変ですが、生徒の皆さんなら思考を巡らせて、克己して学問に励み、充実した学校生活が送れるはずです。

伝統行事を終え、大きく成長した君たちなら。

みんなと歩いてきた道は未来へと続く

